

# 学会報告

2025年4月19日、第122回日本内科学会総会・講演会が大阪国際会議場で行われました。この学会に於いて、当院の高橋愛先生が、高齢者の方々の抗血栓薬（血をサラサラにする薬）の問題点に関して発表いたしました。



67 高齢者施設における抗血栓療法に対する考察 -DOAC中止後に心原性脳塞栓症を発症した超高齢者の慢性心房細動を通して-

高橋 愛（神戸海星病院 内科）

日本は超高齢化社会と言われて久しいですが、社会構造の変化に伴い、疾患の構造も変化してきていることを実感しています。日本の平均寿命は大きく伸び、100歳以上の高齢者が急増し、日本は「超高齢社会」となりました。



高齢者では、既往症や併存疾患、生活環境が個々により大きく異なります。その方の既往症や併存疾患、生活環境により、最良の治療法は違います。個々の患者さんに状態を評価・把握しオーダーメイドの治療が必要と考えています。高橋先生は、高齢者における抗血栓療法（血をサラサラにする薬）の使い方に関して、問題提起し、大きな反響を呼びました。

神戸海星病院 理事長 井上信孝